



2023年10月25日

各位

会社名 株式会社横河ブリッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長 高田 和彦
(コード番号 5911 東証プライム)
問合せ先 財務IR室長 中岡 康次
(TEL 03-3453-4116)

業績予想の修正に関するお知らせ

2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期第2四半期累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	80,900	6,200	6,200	4,400	107.57
今回修正予想(B)	82,300	7,300	7,400	5,800	141.89
増減額(B-A)	1,400	1,100	1,200	1,400	—
増減率(%)	1.7	17.7	19.4	31.8	—
(ご参考) 前年同期実績 (2023年3月期第2四半期)	75,984	3,918	4,207	3,426	82.96

2. 修正の理由

売上高につきましては、橋梁事業及びエンジニアリング関連事業の手持ち工事が概ね順調に推移しましたため、精密機器製造事業の落ち込みを十分カバーする形となりました。営業利益につきましては、システム建築事業を中心にエンジニアリング関連事業での改善が進みました。加えて投資有価証券の売却益の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益が想定を大きく上回ることとなりました。以上のことから、第2四半期累計期間の業績予想を上方修正いたします。

一方、上半期の受注状況は全体的に低調であり、特に建設コスト上昇等による計画の延期や見直しが散見されるシステム建築事業の回復が遅れております。さらに土木関連事業の大型プロジェクトの進捗も遅延傾向にあり、下半期のエンジニアリング関連事業の売上高は計画を下回る見込みです。そのため通期業績予想につきましては現在精査中であり、2023年10月30日に予定しております2024年3月期第2四半期決算発表時にお知らせいたします。

(注) 上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成した見通しであり、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

以上